



2009年8月10日

日本板硝子株式会社

2010年3月期第1四半期決算報告 (2009年4月1日~6月30日)

要点

- 市場変動が沈静化しつつあることを反映した決算内容
- 構造改革施策は予定通り進捗
- 厳格なキャッシュ・マネージメントで業績悪化の影響を低減
- 直近の資金調達で返済期限プロフィールを改善
- 2009年5月発表の通期業績見通しに変更なし

市場変動が沈静化しつつあることを反映した決算内容

- 新車向け(OE)市場は政府支援策やメーカーの在庫積み増しが奏功して改善基調へ
- 自動車補修用ガラス(AGR)市場は好調に推移して前年並みの水準を維持
- 厳しい市場を反映し、建築用ガラス事業は四半期(4-6月期)で赤字計上
- ソーラービジネスは引き続き前年比で数量増
- 市場のファンダメンタルズ改善を受けて機能性ガラスの需要は増加傾向
- 全事業部門でコスト削減策の効果が顕在化
- 連結売上高は1,440億円(直前の第4四半期は1,530億円)、暖簾等償却前営業損失は64億円(同69億円)
- 建築用ガラス事業の売上高は620億円、暖簾等償却前営業損失は29億円
- 自動車用ガラス事業の売上高は630億円、暖簾等償却前営業利益は4億円
- 機能性ガラス事業の売上高は150億円、損益はブレーク・イーブン

構造改革施策は予定通り進捗

- 今四半期(4-6月期)に1,100人削減、累計人員削減数は5,600人。最終削減目標6,700人
- 構造改革費用として予定通り54億円を計上

厳格なキャッシュ・マネージメントで業績悪化の影響を低減

- 今四半期(4-6月期)も有価証券売却で70億円強の収入
- 設備投資は減価償却費の60%未満の水準に抑制
- 構造改革費用、運転資金の季節変動等で借入水準上昇

直近の資金調達で返済期限プロフィールを改善

- 第2四半期初頭に優先株300億円の払込完了
- 第2四半期に入り475億円の借入を実施(平均スプレッド220bp、加重平均返済期限4.4年)

2009年5月発表の通期業績見通しに変更なし

- 全事業部門で需要が回復に向かう見通し
- ヨーロッパにおける建築用ガラスは6月に価格引き上げを実施、今後は収益への寄与が期待
- 事業状況は、世界経済の動向に合わせて横ばい、もしくは上向く
- ソーラービジネスは重要な成長分野で、NSGグループは薄膜市場でマーケット・リーダーのポジションを堅持する
- 通期ではコスト削減効果140億円を見込む
- コスト削減と市況の回復で下期は業績改善を見込み、来期からの利益成長を再確立する